

日本初記録のマダラヒタキの観察

矢田 孝¹

マダラヒタキ *Ficedula hypoleuca* は、ヨーロッパ北部からアフリカ南部にかけて分布し、これまでわが国では記録されていない。

1991年10月6日-10日、著者は、石川県舳倉島において、マダラヒタキ若鳥1羽を観察したので報告する。

観察地

舳倉島は能登半島の北方約50kmに位置し (37°50' N, 136°55' E)、周囲約7 km、面積103ha、標高約13mの平坦で楕円形をした孤島である。植生はススキを優占種とする群落に、メダケ群落、林床にツワブキ群落を有するクロマツ林が点在する。

マダラヒタキを観察した場所は、おもに、島のほぼ中央に位置する舳倉島開発総合センター西側のクロマツ林である。クロマツは直径約10-20cm、樹高約10mで、林内には低木が密生し、それをツル植物がおおっている。

観察記録

1. 形態

大きさはキビタキと同大。額、後頭、後頸、肩から背は灰褐色で、腰は淡灰褐色。黒色の翼とは対照的に、大雨覆先端の白い翼帯、三列風切外縁の白線が鮮やかに目立った。また、初列風切基部に小白斑があり、さらに、中雨覆には若鳥の特徴である淡色の羽縁が見られた。喉はやや白く、胸から腹は汚白色だった。くちばしと脚は黒。上尾筒と中央尾羽は黒色で、最外側尾羽は白色だった。

この尾羽の黒色と白色の境界線の形状が、識別点としてきわめて有効である。マダラヒタキの雌では、中央尾羽の黒色と最外側尾羽の白色の境界線が滑らかな曲線を描くのに対し、類似のシロエリヒタキ *F. albicollis* の雌では櫛の歯状をしている (Hayman 1976)。また、マダラヒタキの雄と *F. a. semitorquata* 雄の比較においても同様で、後者の境界線は櫛の歯状である (Svensson 1975)。

従って、今回観察した個体は、マダラヒタキの若鳥の特徴と一致する。

2. 行動

最初に発見した10月6日の午後5時頃には、樹高約5 mの広葉樹の枝にとまりフライングキャッチを行っていたが、数分後に茂みに飛びこんだ。この日の観察は以上であった。翌10月7日の午後1時から10日の昼までは、クロマツ林にいるところを観察した。マダラヒタキは、林内の低木層の少し上で採食行動を行っていた。

採餌は、枝にとまって時おり空中に飛びだすフライングキャッチをして、飛んでいる昆虫をとるか、樹幹に飛びついたり、ホバリングしながら樹皮上から小さな昆虫をとっていた。別の枝に移動した直

1992年11月20日受理

1. 〒235 神奈川県横浜市磯子区洋光台3-13-7-303



図1. 1991年10月6日-10日, 石川県舳倉島で観察されたマダラヒタキの若鳥 (1991年10月7日撮影).
 Fig. 1. A juvenile Pied Flycatcher *Ficedula hypoleuca* observed at Hegura Island, Ishikawa Prefecture, on 6-10 October 1991.



図2. マダラヒタキの若鳥の尾の形状 (1991年10月7日撮影).
 Fig. 2. A picture of the juvenile Pied Flycatcher, showing the characteristics of its tail.

後には、片翼を開いて上にあげ、下に振りおろす動作を頻繁に行なった。この動作を観察している時に、マダラヒタキが接近してきたオオルリの雄やコサメビタキを追い払い、エゾビタキに追いかける光景を目撃した。

松林内では、およそ一定方向へ移動しながら採食し、林縁までくると松の頂上付近に移動し、そこから林内へ一気に飛んで戻るといった行動をくり返していた。そのため、観察中にマダラヒタキが林外に出ることはなかった。

マダラヒタキの生息環境は、おもな生息域のヨーロッパ北部、ロシア南西部では広葉樹および針葉樹林、庭園、果樹園などであるが、アフリカ南部への渡りの途中ではほとんどブッシュである (Keith & Gooders 1980)。舳倉島においても同様の生息環境を選択していた。

3. 鳴き声

鳴き声については、つんざくような、やや濁った声でジイッとだしたのを一度だけ聞いた。この鳴き声は、オオルリ雄がマダラヒタキに接近してきた時のもので、警戒声と思われる。

謝 辞

本稿をまとめるにあたり、種の同定にさいし日本野鳥の会野鳥記録委員会に、また、資料入手にあたっては、神奈川県立博物館中村一恵氏に大変お世話になった。ここに深甚なる謝意を表する。

引用文献

- Hayman, P. 1976. *The Birdlife of Britain*. Mitchell Beazley, London.
- Svensson, L. 1975. *Identification Guide to European Passerines*, Alb. Bonniers Boktryckeri AB. Stockholm.
- Keith, S. & Gooders, J. 1980. *Collins Bird Guide*, Collins, London.

The first record of the Pied Flycatcher *Ficedula hypoleuca* in Japan

Takashi Yada¹

A juvenile Pied Flycatcher *Ficedula hypoleuca* feeding at the pine woods was observed in Hegura Island (37°50' N, 136°55' E), Ishikawa Prefecture from 6 to 10 October 1991. This is the first observational record of this species in Japan.

1. 3-13-7-303 Yokodai, Isogo-ku, Yokohama-shi, Kanagawa 235.